

EHS教育・啓発

環境・健康・安全を守ることは、東京エレクトロングループの責務です。
「必要な教育を必要な人に」を原則に、多様な教育・啓発プログラムを実施しています。

環境・健康・安全教育に対する考え方

東京エレクトロングループでは、「必要な教育を必要な人に」を原則に環境・健康・安全にかかわる教育を実施しています。当社グループ社員、当社内で作業する協力会社社員を対象に、階層別の教育および訓練を行っています。新入社員研修にも環境・健康・安全に関するプログラムを必須科目として取り入れています。

■EHSに関する教育

- 専門教育
(内部環境監査員教育、重要環境側面にかかわる特別教育)
- ISO14001に基づく環境教育(製造系事業所)
- TEL Eco-Activityによる環境教育(事務系事業所)

環境

- 装置固有教育
- 各顧客固有入場教育
- 各国出張者安全教育
- 上級安全教育
- 基礎安全教育

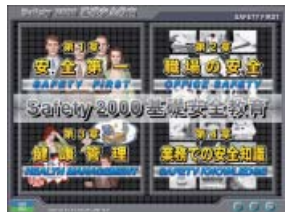
健康・安全

その他の教育・訓練：救急救命講習(心肺蘇生法、応急処置法技能)、法的教育(職長教育、特殊作業など)

安全教育の実施

当社グループでは安全第一をモットーに、オフィスで働く者、クリーンルーム内で作業する者、顧客先で作業にあたる者など、業務内容に応じた安全教育を行っています。これらの安全教育には有効期限を設け、期間内の更新を義務付けています。基礎安全教育と上級安全教育の更新は、当社イントラネット上でのWebラーニングとなっております。いつでも受講が可能です。カリキュラムは当社グループ全体で統一され、海外、特にアジア地区への展開を進めています。

また、救急救命講習(心肺蘇生法・応急処置法)を各地で定期的に行い、災害時や緊急時に備えています。



Webによる安全教育



救急救命法の講習会

環境教育の実施

当社グループでは、営業、事務職、フィールドエンジニア、パート社員、派遣社員など、事務所系事業所に勤務するすべての社員を対象に、共通の環境教育を行っています。

製造系事業所では、すべての社員を対象に、ISO14001とかかわる各事業所の目標などを中心とした教育研修を行っています。また、重要な環境側面にかかわる作業者を対象にした特別教育も実施しています。



新入社員向けの環境教育

TOPICS

実機キットによるLOTO体験トレーニング

半導体/FPD製造装置は、ウェーハやガラス基板の大型化により、電気エネルギーやロボットなど駆動部の機械エネルギーの取り扱いリスクが高まっています。これらの危険から身を守る方法として、当社グループでは米国で普及しているロックアウト^{*1}・タグアウト^{*2}(LOTO)という手法を取り入れ、研修を行っています。

LOTOの作業方法を身に付けてもらうため、各作業の責任者を対象に、オリジナル製作した実機のキットを用いて、ブレーカー類に鍵と札をかけるなどの体験トレーニングを実施しています。また、LOTO実行の重要性を知ってもらうために事例紹介なども行っています。



トレーニング用実機キット

*1 ロックアウト(Lockout)：一定の手順により、エネルギー源から装置へ向かうエネルギーの流れを遮断するため、ロックアウト器具(鍵など)を取り付けること。これにより器具を取り除くまでエネルギーの放出や装置の稼働ができなくなる。

*2 タグアウト(Tagout)：装置に流れるエネルギーが復旧されないことがないよう、切断スイッチやその他エネルギー遮断器具に一定の手順により警告タグ(表示)を取り付けること。